

会長よりご挨拶

経営情報学会会長 國領二郎 (こくりょう じろう)
慶應義塾大学

この度、根来前会長の後を継いで、経営情報学会の会長を拝命いたしました。みなさまどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

自己紹介させていただきますと、昭和34年生まれの50歳です。東京大学経済学部卒の文科系ですが、通信エンジニアだった祖父の影響があったのと、学生時代にC&Cの概念に巡り合ったことをきっかけに、情報技術に関心を持ち続けてきました。NTTに入り、途中からハーバード留学をきっかけに大学に戻るようになりましたが、一貫して、コンピュータネットワークを利用サイドから追いかけてまいりました。現在は慶應義塾大学の湘南藤沢キャンパス（SFC）で総合政策学部長をしております。

研究者として、ずっと追いかけてきたので、「経営」と「情報」の近くて遠い関係については痛感しております。経営が大勢の人たちの目的に向けて協調行動を生み出し統治するものだとするならば、経営は情報行動そのものです。しかしながら、経営のために我々が創りだす人工物である狭義の「情報システム」が思ったように経営組織の中で動かない現象に我々は日々直面します。人間系を含む広義の情報システムを成功裏に構築するためには、人間に対する深い洞察と、システム構築に関する深い理解と、それらを統合する方法論が必要です。とても難しいタスクなのですが、諦めずに答えを出し続けていくのが、経営情報学会が負う最大の使命かと思ひます。新しい技術がどんどん生まれる中で、その重要性はいささかも減じていないと思ひています。

このような学問的な課題に的確に答えていくためにも、学会の組織整備が必要です。まずは根来会長のもとで着々と準備が進められてきた、法人化について、来年までに完了させたいと思ひしております。

加えて、学会の国際化も重要なテーマなのだろうと思ひています。日本には優れたシステムがいろいろありながら、世界にそれが知られることもなく、いわばブラックホールのような状態になっていると思ひます。そのような状態は日本の情報産業の国際展開にとっても、良くないことだろうと思ひます。会長になりたての時から、いきなり大規模なことをしないまでも、国際的なプレゼンス向上のために、何が本当に大切なことなのか、皆さまと議論しながら、小さな一歩でも踏み出せたらと思ひています。

良い学会にしたいと思ひますので、皆さまのお力ぞえをどうぞよろしくお願ひ申し上げます。